

薬学部附属薬用植物園

助教授 吉崎正雄
文部技官 橋本竹二郎
文部技官 藤野廣春
文部技官 近藤誠三

1. 研究概要

本園は圃場に薬用植物及び関連する有用植物の見本・標本を栽植，さらに特定の薬用植物についてはその栽培法の研究を行い，収穫した薬草の調製によって生薬を生産する。一方，生薬の品質に関しては理化学的手法によって品質基準の設定法を研究し，品質の安定した生薬の生産法を見いだす。

1) 栽植・栽培について

現在，寺町にある薬草園は昭和54年4月に杉谷の校内敷地に移転が予定されている。この準備のため栽植・栽培圃場にある植物の整備を行った。栽培研究はジャノヒゲ類，シャクヤク，センブリ，キハダ等について行い，一部の植物については他の研究機関と共同研究を進めている。薬用植物の充実の一環として従来進められていた野外植物の調査・収集は県内に自生する薬用植物を中心に上市，八尾，利賀および泊方面で行った。

2) 生薬の品質評価について

栽培・生薬調製法を通しての生薬（麦門冬，芍薬，センブリ等）及び他の生薬（人参，広東人参）について理化学的品質評価法の研究を行った。野生薬用植物の栽培化という集約的生産において，当該生薬の品質評価法を確立することが今後の研究課題である。

2. 学会報告

1) 難波恒雄，吉崎正雄，近藤誠三：生薬の品質評価に関する基礎研究（第9報）人参とその同類生薬および人参製剤の品質評価，日本薬学会第98年会，1978. 4，岡山。

2) 清水岑夫，石川慧，橋本竹二郎，森田直賢：HPLCによる生薬成分の分析 その2 芍薬中のPaeoniflorinの定量，日本薬学会第98年会，1978. 4，岡山。

3) 吉崎正雄，宮沢洋一，難波恒雄：生薬の品質評価に関する基礎研究（第10報）センブリの品質について（その2），日本生薬学会第25回年会，1978. 10，福岡。

4) 近藤誠三，吉崎正雄，難波恒雄：生薬の品質評価に関する基礎研究（第11報）生薬製剤の品質評価（1），日本生薬学会第25回年会，1978. 10，福岡。

3. 原著

1) Kawase Y., Yamaguchi S., Kondo S. and Shimokawa K.: The Synthesis of dl-5-Acetyl-2-(1-Hydroxymethylvinyl)-2, 3-Dihydrobenzofuran and its Esters. Chemistry Letters, 253-254, 1978.